

多面的機能支払交付金で「デイワーク」を活用するポイント

①総会で合意

作業内容・人数・時間・場所・日当
単価・労災保険など募集に関するす
べての項目を話し合って決めよう。

②スマートフォンを活用

スマートフォンの操作に慣れてい
る人を探し、アプリで募集等の作業
を行う人を決めよう。スマートフォ
ンの購入・リース費や通信費も交付
金を活用可能。

※交付金で購入・リースする備品等は、
多面の活動以外では使用不可。

③労災保険への加入

万が一の事故に備えるため、参加
者は必ず労災保険に加入するよう
にしよう。

保険料は、交付金を活用可能。

注：交付金の使い道には限りがあるため、
購入・リースや負担するものについて
は、必ず市町村の担当者に相談しよう。



利用者の声

参加した人

コミュニティづくりの きっかけに

梅木達也さん

草刈り作業を経験する目的で応募しました。
多面組織とは知りませんでしたが、当日は大変
さより、ベテランの上手さに驚き、作業経験など
得るものが多かったです。将来、参加者による草
刈隊の結成など、継続性のあるコミュニティづ
くりのきっかけになれば良いと思います。

募集した人

元氣な活動が続けるため

天野善治さん
(東根地域広域保全会会長)

組織で人手不足に悩んでいたなか、県からデ
イワークの話聞いたのをきっかけに、利用を
始めました。東根市内の他組織でも活用を考え
ていると聞き、良い反響があったと感じていま
す。地域の皆が元気に活動を継続できるよう、
県と市の協力を得ながら頑張っています。

「やまがた農業ぶちワーク」

「デイワーク」を使った取組みについて

詳しくはこちら↓

これが
目印→

1日単位でバイト



【事務局】
山形県農業働き手確保対策協議会

「デイワーク」とは？



スマートフォン
などのアプリを通
じて、一日単位で
農家と働き手を結
びつける仕組み。

地域の共同活動に 農業バイトアプリを活用



多面的機能支払交付金 東根地域広域保全会(東根市)

地域を守っていくために

農村地域では人口減少と高齢化が同時に進行しており、農家
や地域住民が行っている草刈り作業や水路の泥上げなどの共同
活動の実施が、年々困難になってきている。これらは水路等の
維持管理や農村地域の景観を維持することを通じて、地域その
ものを守っていくためにとても重要な活動である。

これまでは、地域の共同活動は地域内の人たちで実施してき
たが、地域内の人手不足という課題に対応するために、多面的
機能支払交付金を活用し、地域外に人手を求めた「東根地域広
域保全会」の取組事例を紹介する。

地域外のちから

当組織は東根市の19集落で構成される広域活動組織であ
る。田193ha、畑34ha、農道20km、水路20km、ため
池7箇所を対象に、維持管理の活動を毎年実施しているが、構
成員の高齢化に伴う共同活動の参加者減少に悩んでいた。

そこで、令和6年度から活用を始めたのが、1日農業バイト
アプリ「daywork」(以下デイワーク)である。スマート
フォンのアプリを通じてため池周辺の草刈り作業の人員を募集
した結果、募集人数2人に対して22人も応募があった。当
日は地域外から来た2人に作業の説明や機械の使い方などを指
導しながら2時間の作業を一緒にを行い、無事に完了することが
できた。